

平成12年10月31日

(株)日立製作所

情報・エレクトロニクス部門に関する補足資料

1. コンピュータ

<売上高(内外販合計)>

(上段：前年度比、単位：億円)

	11年度			12年度(見込)		
	上	下	計	上	下	計
連結	96%	96%	96%	99%	103%	101%
合計	8,050	8,650	16,700	7,950	8,950	16,900
個別	94%	97%	95%	100%	103%	102%
合計	6,230	6,850	13,080	6,230	7,070	13,300
国内	99%	104%	101%	105%	100%	102%
	4,900	5,930	10,830	5,150	5,910	11,060
輸出	79%	68%	74%	81%	126%	100%
	1,330	920	2,250	1,080	1,160	2,240
輸出比率	21.3%	13.4%	17.2%	17.3%	16.4%	16.8%

<事業概況>

平成12年度上期：海外では、メインフレームの減収により、前年同期を下回ったが、国内では、金融分野を中心にソリューション事業が堅調に推移し、海外での減少をカバー。

平成12年度通期：国内では引き続きソリューション事業が拡大し、海外でもストレージ事業が大きく伸長することから、全体でも前年を上回る見通し。

<主要製品受注台数(個別ベース 輸出モデルを含む。但し、PCには輸出モデル含まず)>

	単位	11年度			12年度(見込)		
		上	下	計	上	下	計
スーパーコンピュータ	台	13	8	21	10	18	28
超大型汎用コンピュータ	台	190	248	438	96	23	119
大型汎用コンピュータ	台	468	446	914	170	78	248
(超大型+大型)	台	(658)	(694)	(1,352)	(266)	(101)	(367)
中小型汎用コンピュータ	台	116	99	215	121	206	327
汎用コンピュータ	台	774	793	1,567	387	307	694
UNIXサーバ	台	1,400	1,300	2,700	1,400	1,500	2,900
UNIXワークステーション	台	1,500	700	2,200	1,000	500	1,500
PC(PCサーバ含む)	台	303,000	307,000	610,000	310,000	400,000	710,000
大容量磁気ディスク装置(RAID)	TB	1,850	2,250	4,100	3,300	5,200	8,500

*スーパーコンピュータ、汎用コンピュータの台数は、実数は命令プロセッサ。但し、スーパーコンピュータの並列機(SRシリーズ)についてはシステムベース。

< 製品分野別 情報事業国内受注内訳(個別ベース) >

	11 / 上	11 年度	12 / 上
ハード	約 42%	約 43%	約 40%
ソフト・サービス	約 58%	約 57%	約 60%

* 情報事業(金融・流通システムグループ、産業システムグループ、公共システムグループ、通信・社会システムグループ、情報コンピュータグループ、i.e.ネットサービスグループ(除く通信))

< 業種別 情報事業国内受注内訳(個別ベース) >

	11 / 上	11 年度	12 / 上
金融	約 27%	約 27%	約 28%
製造	約 21%	約 19%	約 21%
流通	約 18%	約 19%	約 21%
公共、その他	約 34%	約 35%	約 30%

* 情報事業(金融・流通システムグループ、産業システムグループ、公共システムグループ、通信・社会システムグループ、情報コンピュータグループ、i.e.ネットサービスグループ(除く通信))

2. 通信

< 売上高(内外販合計、個別ベース) > (上段：前年度比、単位：億円)

	11 年度			12 年度(見込)		
	上	下	合計	上	下	合計
合計	122% 930	99% 1,070	109% 2,000	109% 1,010	108% 1,160	109% 2,170
輸出比率	10%	8%	9%	9%	12%	11%

< 事業概況 >

平成 12 年度上期：国内は、移動体端末の大幅な伸長に加え、I S D N 交換機も増加した。輸出においても光部品の伸長などにより、前年同期比 109% の 1,010 億円となった。

平成 12 年度通期：引き続き、国内は移動体端末や、I S D N 交換機、輸出では光部品が好調に推移する見通しであり、前年度比 109% の 2,170 億円を見込む。

3. 半導体

< 売上高(連結ベース) > (上段：前年度比、単位：億円)

	11 年度			12 年度(見込)		
	上	下	合計	上	下	合計
合計	107% 3,200	117% 3,500	112% 6,700	122% 3,900	114% 4,000	118% 7,900

< 事業概況 >

平成 12 年度上期：P C 関連、携帯電話、自動車向けのマイコンや、G S M 用ハイパワーアンプが好調であり、売上高は、前年同期比 122% の 3,900 億円となった。

平成 12 年度通期：マイコンを中心にシステム L S I 製品や G S M 用ハイパワーアンプ、またシステムメモリ製品が伸長し、売上高は、前年度比 118% の 7,900 億円を見込む。

< 事業部別売上高構成比 >

	11 年度	12 年度(見込)
D R A M 事業部	21%	18%
システムメモリ事業部	7%	9%
システム L S I 事業部	47%	48%
汎用半導体事業部	25%	25%

< 半導体設備投資(連結ベース) >

(単位：億円)

		11年度	12年度(見込)
	那珂地区	220	170
	高崎地区	140	130
	甲府地区	60	210
	その他	160	210
親会社合計		580 (上期 240:下期 340)	720 (上期 360:下期 360)
	トセテクノロジーズ*		700
	その他	350	360
	国内子会社	350	1,060
	HNS*	400	190
	その他	150	70
	海外子会社	550	260
	子会社合計	900	1,320
連結合計		1,480 (上期 660:下期 820)	2,040 (上期 1,480:下期 560)

* HNS : Hitachi Nippon Steel Semiconductor Singapore Pte.Ltd.

< DRAM生産個数(連結ベース) >

	12年10月現在	今後の計画
64MDRAM	600 万個 / 月	12年 12月末:500 万個 / 月、13年 3月末:350 万個 / 月
256MDRAM	120 万個 / 月	12年 12月末:180 万個 / 月、13年 3月末:230 万個 / 月

< フラッシュメモリ生産個数(連結ベース) >

	12年10月現在	今後の計画
64Mフラッシュメモリ	50 万個 / 月	12年 12月末:40 万個 / 月、13年 3月末:40 万個 / 月
256Mフラッシュメモリ	50 万個 / 月	12年 12月末:80 万個 / 月、13年 3月末:100 万個 / 月

< マイコン売上高(連結ベース) > (単位：億円)

11年度	前年度比	12年度(見込)	前年度比
2,000	118%	2,400	120%

4. ディスプレイ

<売上高(連結ベース)>

(単位：億円)

	11年度		12年度(見込み)	
		前年度比		前年度比
売上高	2,900 (上期:1,400 下期:1,500)	104%	2,900 (上期:1,500 下期:1,400)	100%
主要製品売上高				
液晶	1,600	200%	1,760	110%
カラーディスプレイ管	700	47%	670	96%
カラーブラウン管	260	130%	260	100%
プロジェクション管	180	100%	150	83%

<事業概況>

平成12年度上期：TFT液晶では、韓国・台湾メーカーを中心とする能力増強はあったものの、部材不足のため需給はほぼ均衡し、PC用TFT液晶市場の成長に支えられ、売上高は前年同期比107%の1,500億円となった。

平成12年度通期：TFT液晶は市場環境が厳しさを増すと見込まれるが、携帯電話向けカラーSTN液晶など伸長する分野への積極的な参入を推進し、売上高は前年度比100%の2,900億円を見込む。

<液晶生産規模(連結ベース)>

(単位：億円)

	11年度				12年度(見込)			
	上	下		前年度比	上	下		前年度比
TFT	670	770	1,440	240%	790	710	1,500	104%
STN	70	90	160	80%	100	160	260	163%
計	740	860	1,600	200%	890	870	1,760	110%

<液晶設備投資(連結ベース)>

(単位：億円)

	11年度				12年度(見込)			
	上	下		前年度比	上	下		前年度比
投資額	90	220	310	620%	280	290	570	184%

以上